

中春別中だより

平成27年2月13日

英知・誠実・強健・創造 中春別中学校学校便り 第22号 発行者 外山 浩司

新校舎を祝う会

校長 外山 浩司

2月7日(土)に「新校舎を祝う会」を地域のみなさん、旧職員、卒業生(高校生含む)など45名の参加をいただき終了することができました。当日は天候にも恵まれ開催することができました。

今回は、PTAが主催で、4町内会(中春別、豊原、美原、中春別連合協議会)の協賛で企画されました。祝う会は、主催者を代表してPTA会長が挨拶をし、校長が完成のお礼の挨拶を述べ始めました。その後、前学校長の乾杯の音頭で歓談に入りました。旧職員と旧保護者との再会や恩師との再会に話が弾みました。

懇談の中で平成16年から26年度までの行事などの写真が映し出され、当時をなつかしく思い返しました。また、校舎新築の様子や旧校舎解体の様子も映し出されました。参加者のインタビューを交えながら当時を振り返りました。

途中に新校舎の見学を15分間ほどおこないました。参加者からは「立派ですね」「うらやましいですね」「木材が多く取り入れられて、いいですね」などの感想が聞かれました。

祝う会の最後には、職員7名の出し物で『アングロン』(インドネシアの民族楽器)による「さくらさくら」の演奏を聴いてもらいました。締めを前PTA会長にいただき会を終了しました。

我々教職員は、立派な校舎をつくっていただいた教育委員会、地域の皆さん、建設に携わっていただいた方々へのご苦労に報いるためにも本校の教育理念であります

「生徒が学校に来たくなる学校」、 「父母が通わせたい学校」

「教師が務めたい学校」、 「地域住民にとって自慢の学校」をより一層めざし教育活動をおこなって行きます。

中春別中学校は、地域の学校として地域行事に積極的に参加するなど交流を深め、地域から愛される学校を目指しています。地域の中で誇れる学校施設であり続けるように職員一同、力を尽くして進んでいくことを「新校舎を祝う会」を終え再確認しているところです。今後とも宜しくお願いいたします。



M姉弟 実力を発揮 Rさん全国2位 S君決勝進出

長野県で開催された第35回全国中体連スケート大会でM姉弟が大活躍をしました。S君は、1,500mで選手84人中、決勝に進める24位以内に入りました。決勝でもダブルトラックの自己新記録で20位の成績でした。来年の入賞が期待できる滑りと結果を残すことができました。

Rさんは、1,000mで83人出場した予選を通過しました。決勝では自己新記録を出して見事2位に入賞しました。釧路・根室管内の女子選手で表彰台に上がったのは、Rさん1人だけでした。長野から東京に向っている新幹線の中で、釧路新聞から取材の申し込みがありました。東京のホテルでインタビューに応えました。その内容が翌日の新聞に写真入で大きく報じられました。S君、Rさんおめでとうございます。



(長野県エムウエーブの前で)



(釧路新聞の記事)

北方領土返還弁論大会 0君 佳良賞

2月7日に根室市で開催された北方領土弁論大会で別海町の代表として出場したO君が、佳良賞に入りました。表彰式後には、審査委員の方や元島民の方から「良かったですね」と声をかけられたそうです。昨年の夏休みに国後島を訪問した体験を生かし、今後の領土返還についてのO君の想いを約1,000人の前で堂々と発表してきました。ご苦労様でした。



北海道ジュニア検定 1級に合格

昨年の12月に行われた北海道ジュニア検定において3年生のN君が見事1級に合格しました。1級は全道でも5人だけでした。「北海道学ジュニア検定」とは、北海道の歴史や地域の様子などについての問題が広く出題されます。N君は、2年生の時に中級を取得していました。おめでとうございます。

